

◆ 愛媛県総合計画～未来につなぐ えひめチャレンジプラン～

愛媛県総合計画 ～未来につなぐ えひめチャレンジプラン～
2040年頃の目指すべき愛媛の将来像

<基本理念>

愛のくに ^え ^が ^お 愛顔あふれる愛媛県

<目指すべき将来像>

若者をはじめ、県民誰もが自らの希望を実現でき、
安全・安心で豊かな人生を送れる持続可能な愛媛県

愛媛づくりの方向性

2040年頃の目指すべき愛媛の将来像の実現に向けた、
4年間での中期的な県づくりの方向性(令和5年度～令和8年度)

① 人

次世代を育み、誰もが活躍できる愛媛県

② 経済

“稼ぐ力”を高め、県民所得が向上した愛媛県

③ 暮らし

安全・安心で快適に暮らせる持続可能な愛媛県



方向性実現のための政策・施策体系

「人」「経済」「暮らし」の3つの分野の下に9の政策を設定し、さらにその下に37の施策を置き、県の事業は各施策の目標の実現に向けた手段として紐づけ、全分野を網羅した体系とする。

② 経済

施策17 農林水産業の生産振興

【生産基盤等の整備】

- ・平成30年7月豪雨で被災した圃地の再編復旧の推進
- ・所得向上につながる水田のほ場整備の推進
- ・生産性の向上と防災力の強化につながる樹園地再編の推進
- ・農業水利施設の計画的な保全対策の推進
- ・地域協働による農地や農業水利施設等の保全管理活動の促進

③ 暮らし

施策29 大規模災害に備えたまちづくり

【農山漁村地域の防災対策】

- ・ため池の改修・廃止や耐震対策の推進
- ・農地地すべり対策などの農山漁村地域の防災対策の推進

施策37 自然との共生

【農山漁村の環境保全】

- ・農山漁村の持つ美しい景観や自然環境の保全を図る中山間地域の棚田の保全や水環境の改善

◆ えひめ農林水産業振興プラン2021(R3～R7)

= 愛媛県の未来を創る農業・農村振興条例に基づく基本計画 =

農業・林業・水産業の共通の取組

- 西日本豪雨災害からの創造的復興
- 新型コロナウイルスの影響と対応
- 県産農林水産物の輸出拡大
- 魅力あるブランド商品の育成
- 食料自給率の維持・向上
- 「えひめ愛顔の農林水産人」の紹介

農業の取組



農業を担う「人づくり」

～えひめ農業を支える担い手を確保・育成します～
 農業内外からの新規就農・定着の促進、女性農業者の確保・育成、担い手への経営継承支援、農業教育の充実、農業保険の普及啓発、外国人材やみかんアルバイト等多様な人材の活躍促進 など

愛顔あふれるえひめ農業・農村の持続的な発展と次世代への継承

[主要指標] 農業産出額1,200 億円(現状維持)



農業で輝く「モノづくり」

～競争力の高いえひめ農業の生産力・販売力を磨きます～
 生産基盤整備の推進、農地中間管理機構による農地利用集積の推進、農産物の生産力強化、先端技術の活用、普及指導活動の推進、ブランド力向上、輸出力強化、6次産業化の促進、環境にやさしい農業の拡大、動植物防疫措置の強化 など

農業を支える「地域づくり」

～地域でつながるえひめ農業を目指します～
 地産地消・食育の推進、多様な交流の促進、地域の共同活動の促進、荒廃農地対策、防災・減災対策、中山間地域の定住環境の整備、鳥獣被害対策の強化、関係団体との連携強化 など

◆ 愛媛県果樹農業振興計画(令和3年3月策定)

今後10年間の
果樹農業の振興目標

未来型果樹園の創造とブランド果実の安定供給による
儲かる果樹農業の確立

対策の柱(重点的に取り組む事項)

1 平成30年7月豪雨災害からの復興

- ① 被災園地の復旧・復興 災害に強い園地の創造、復旧園地における施設整備や優良品種の導入等
- ② 自然災害への対応強化 排水対策等の基盤整備、被害の予防・軽減のための施設整備等

2 未来型果樹園を核とした果樹産地の強化

- ① 次世代につなぐ生産基盤づくりの推進 モデルとなる「未来型果樹園」づくり、担い手への園地集積、緩傾斜化や水田の樹園地化などの基盤整備等
- ② 園内道・モノレールの効率配置の推進 園内道とモノレールの効率的な配置、園地の改良等
- ③ 生産性向上や高品質化の推進 計画的な改植・新植、ハウス・かん水設備・果樹棚等の整備、スマート農業の現地実証等
- ④ 新技術や優良品種等の開発・普及 新品種の開発・栽培技術の確立等

3 オリジナル品種の拡大等による儲かる果樹農業の推進

4 多様な担い手の確保と次世代への継承

5 選果・流通の高度化を可能とする集出荷貯蔵施設の整備

◆ えひめ農業農村整備の基本方針

県では、平成30年7月に発生した「西日本豪雨災害からの創造的復興」を最優先課題に掲げ、「防災・減災対策」「人口減少対策」「地域経済活性化対策」に重点を置いて各種施策に取り組んでいます。

農業農村分野においても、西日本豪雨災害で甚大な被害を受けたかんきつ園地の復旧・復興を最優先に、喫緊の課題である「深刻な農業従事者の減少・高齢化」や「頻発・激甚化する自然災害」に対応するため、「担い手対策」と「防災・減災対策」を施策の柱として各種農業農村整備事業を展開し、愛顔あふれるえひめ農業・農村の持続的な発展と次世代への継承を目指します。

最優先施策

柑橘園地の創造的復興

課題：西日本豪雨災害からの創造的復興

崩落した園地について、周辺の被災していない園地も含めて大規模にほ場整備を行う「再編復旧」等により、**災害に強く生産性の高い園地を創造**します。

【目標値】 樹園地再編復旧の営農再開地区数：4地区(R5～R8)

重点施策

農業農村を支える担い手対策

課題：農業従事者の減少・高齢化への対応

意欲ある担い手の規模拡大や所得向上につながる生産基盤の整備を推進し、**産地の生産力を強化**します。

- 水田**
- 農地の集積・集約化、営農の省力化・生産コストの削減を目指した**水田の大区画化**
 - 高収益作物への転換や新たな産地形成に向けた**水田の汎用化** など

- 樹園地**
- 園地の緩傾斜化や農道・園内道、かん水施設の整備など、生産性の向上と防災力の強化につながる**再編整備**
 - マルドリ方式との併用など**既存かんがい施設の高度利用**
 - 水田の樹園地転換に必要な**排水対策** など

【目標値】 水田・畑(樹園地)のほ場整備面積：320ha(R5～R8)

農業農村の防災・減災対策

課題：頻発・激甚化する自然災害への備え

決壊時の影響が大きい防災重点ため池を中心に、ハード・ソフトの両面から、計画的かつ効果的な防災減災対策を推進し、**農業農村の防災機能を強化**します。

【目標値】 防災重点ため池の改修箇所数：50箇所(R4)→122箇所(R8)
 防災重点ため池の耐震対策着手箇所数：22箇所(R4)→31箇所(R8)

両対策を支える施策

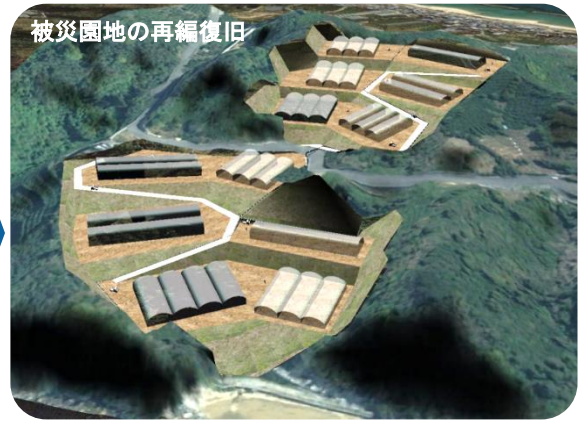
農地・農業水利施設の適切な保全管理、中山間地域の振興等

農業生産活動に不可欠な農地・農業水利施設の保全に加え、担い手の負担軽減や産地の防災機能の強化につながる取組を推進します。

- 農業水利施設の計画的かつ効率的な長寿命化対策
- 地域協働による農地・農業水利施設等の保全管理活動の促進
- 中山間地域等条件不利地域における農業生産活動の継続支援や生活環境基盤の整備 など

■ 柑橘園地の創造的復興

西日本豪雨で崩落した園地を災害に強く営農しやすい園地につくりかえます



■ 農業農村を支える担い手対策

担い手の規模拡大や所得向上を後押しします

水田のほ場整備



樹園地の再編整備



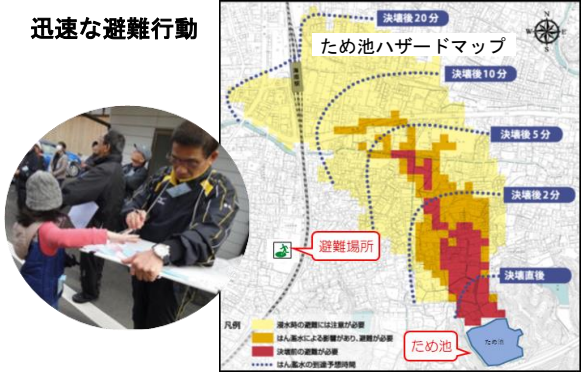
■ 農業農村の防災・減災対策

自然災害等による被害を防止・軽減します

ため池の改修



迅速な避難行動



■ 農地・農業水利施設の適切な保安全管理、中山間地域の振興等

地域共同活動



きめ細かな整備

